

第 10 回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

1 日時・会場

平成28年7月21日（木） 10:00～11:30

厚別消防署2階 講堂

2 出席者（敬称略）

白川 典洋（小学校長会厚別支部）

波多野 達郎（厚別区PTA連合会）

小池 千秋（厚別区中学校長会）

岡本 勉（公益社団法人札幌市子ども会育成連合会）

松山 瑞穂（厚別中央地区 まちづくり会議）

藤島 敬久（厚別南まちづくり会議）

安居 法仁（青葉地区まちづくり会議）

押田 純（厚別西地区まちづくり会議）

栗原 佐外夫（厚別東地区まちづくり会議）

野川 順子（厚別区青少年育成委員会連絡協議会）

原田 剛（厚別警察署生活安全課）

竹内 恒之（北海道コカ・コーラボトリング㈱）

河西 敬志（北海道コカ・コーラボトリング㈱）

神 昭一（厚別警察署少年補導員連絡協議会）

美藤 加代子 厚別区市民部長

國島 徹 厚別区市民部総務企画課長

嶋田 愛一 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係長

柴田 肇 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係

3 会議内容

【1】厚別区の犯罪発生状況について

- 刑法犯の認知件数としては、厚別区内の交番の中ではひばりが丘交番、信濃交番、新札幌交番それぞれの管内が多い。平成15年以降認知件数は減っており、去年より今年の方が更に減っているが、子どもや女性に対する声掛け事案と、高齢者に対する詐欺が増えている。子どもや女性に対する声掛け事案は今年に入って厚別警察署管内で92件発生しており、その内厚別区は74件。主に多いのは小学生と中学生に対する声掛け事案であり、最近は女子児童のみならず男子児童に対する声掛け事案も多くなっている。

その他、地下鉄の新さっぽろ駅や大谷地駅で盗撮事案があり、今年春先に 5 人逮捕されている。強制猥褻事案もあり、こちらも新さっぽろ駅周辺で多く発生しており、地下鉄やJRの最終便に乗って自宅に一人で帰る女性を狙った犯罪が多い。また、大谷地付近の陽だまりロードで体を触る痴漢も発生している。詐欺の関係では、7 月 7 日に信濃管内で2件、ひばりが丘管内で1件発生した。信濃の内1件は既遂で千数十万円盗られており、もう1件の150万円は未遂で終わっている。ひばりが丘管内の件は400万円盗られている。また先般、釧路のイオンで通り魔的な事件が発生したが、あれは厚別で発生してもおかしくないもので、警察としては今後イオン等の大型店舗で訓練を行いたいと考えている。認知件数が下がってきたのもここにいる皆さまのおかげだと思っているので、今後ともよろしくお願ひしたい。

【2】平成 28 年度厚別区防犯教室の開催結果について

- 防犯教室については、この防犯ネットワーク会議主催事業として毎年開催しており、昨年度は防犯講演会ということで、うさぎママのパトロール教室の武田信彦氏を講師に迎えて開催したが、昨年このネットワーク会議の議論の中で、小学校で直接武田先生に実施してもらった方が効果が高いのではないかとということで、今回開催した。資料2に記載のとおり、6月8日から10日の3日間でひばりが丘小学校、上野幌小学校、大谷地東小学校の3校で開催し、合計785名の児童が参加した。昨年度の防犯ネットワーク会議では、防犯教室は1年で2校から4校くらい開催し、5年で厚別区内全校開催できればという話をしている。開催時期についても6～7月頃を考えており、特段何もなければ来年度もこのまま続けていきたいと考えている。また、今回の課題としては地域住民の参加が出来ていなかったが、来年度以降は出来る限り対応したいと考えている。

【3】共栄小での地域安全マップの開催結果について

- 資料3について説明する。厚別区では毎年共栄小学校の3年生が実施している。先日校区内のフィールドワークを実施し、本日午後にマップの発表会がある。

【4】札幌市子ども110番の家支援事業について

- 資料4について説明する。子ども110番の家は以前から存在しており、各学校や町内会で行い、10年以上前にステッカーを貼ったこともあったが、現時点でどこかで集約して把握しているわけではなく、各団体がステッカーを配布した後は管理していない。この度の支援事業の内容としては昨年度末から札幌市で運営しており、ステッカーの配布や見舞金が出る保険の加入や登録している家が見えるマップの作成などを行う。今年度は札幌市が各小学校に当事業の周知・説明をしている。なお、厚別区の状況としては、昨年度の時点で2団体登録してもらっており、「青葉地区の子どもを見守る会」が390件、「上野幌町内会」は3件。全市では昨年度時点で14団体2,957件の登録がある。今年度の登録は明日締切であるが、現在厚別通小学校から申請をいただいている。明日の締切以降も保険の適用外になるが随時受付はしている。場合によっては

小学校から町内会へ協力の要請があるかもしれない、この事業は学校と町内会が地域一体となって取り組むことが理想であると思うので、町内会には是非ともご協力をお願いしたい。

- 自分も「青葉地区の子どもを見守る会」として登録した。実際にこれまでの登録状況を洗い出しすると、かなりの家が転居や死亡していたことがわかった。また、見守る会やスクールガードに再登録してもらい、これまでの登録状況のチェックが大事だと思った。
- 自分は上野幌西小学校区域だが、この事業の施行によって、既存の登録している家が自動で再登録になるわけではないということか。
- 自動で再登録にはならない。
- であれば、もう一度我々から確認しないと、場合によっては団体の登録が済んでいないこともあるのか。
- そのとおりであるが登録は任意なので、以前、上野幌西小学校と上野幌東小学校が独自で取り組んでいるという話を聞いたことがある。独自というのもそれはそれでいいかと思う。
- 学校が以前登録していた家に今回の事業の文書を送っているのか。というのは、先日自分の家にこの事業の文書が届いた。110番の登録としては防犯協会からきて「子どもを見守る店」と「SOSの店」があり、自分のところはその他に歯科医師会からもきており、今回のものもまた届いたので個別に理解できなかった。一般人が混乱しているのではないかと思う。
- 110番の家は過去にいろいろなところで実施しており、パターンも複数あってバラバラであったため、今回札幌市として初めて把握するため実施した。
- 子どもを見守る店については育成委員がそれぞれ店に行って登録をお願いしたが、110番の家ではないので、駆け込みではなく見守りであるため、見舞金はないのかと思う。子どもを見守る店も今回の110番の家支援事業に一本化したらいいのかと思う。
- その他にも「子ども110番の家」もあって、これは子ども110番の家と同様に駆け込みできるものであるが、確かに似て非なるものがあるってわかりづらいと思う。
- この事業はどのくらいの期間に事前PRしていたのか。
- 札幌市で小学校への説明会を前年度に3日間くらいかけて行った。また、既存の登録している家の調査を行い、それらの団体にもこの度の事業の説明と登録の呼びかけを行った。
- 子ども110番の家と家について、両者の連携はとれているのか。
- 札幌市でそれぞれ所管している部署が同じなので、連携はとれている。
- 例えば各学校の交通安全指導員とは子ども110番の家や家との連携はないので、そこを連携して地域一体で見守る体制をとれるよう提案したい。
- 交通安全も防犯も札幌市で所管している部署は同じであるので、その旨所管部署に伝えておく。

【5】土日等の重大事案発生時における「ほくとくん防犯メール」の即日配信について

- 資料5について説明する。「ほくとくん防犯メール」の即日配信については、昨年度防犯ネットワーク通信に掲載して町内回覧するなど周知を図った。即日配信という結論に至るまで、前回の防犯ネットワーク会議で土日に連絡する方法を検討したが、その後いろいろ調整したところ、土日に警察署から各関係団体に緊急連絡で正確な情報を伝えることが困難であることがわかった。厚別警察署ではこれまで「ほくとくん防犯メール」の即日配信は難しかったが、緊急事案については即日配信するよう対応してもらった。このメールを受け取った方は、次に情報を知らない人にどのように周知するか各団体の考えていただければと思う。
- 今のところ土日に緊急連絡するような事案は無い。先日、道警本部から連絡体制をどのようにしているか聞かれ、厚別区内においては土日の緊急連絡はほくとくんメールを配信すると回答している。北広島市は市役所に連絡すると学校に伝わるシステムになっている。現在、他の区も同じ方法で行うような動きがあるようである。メールの登録件数も相当数上がっている。
- 先月、本校の上空をヘリコプターが低空で飛行していた。ちょうど下校時間だったので、すぐに厚別警察署に電話で問い合わせたが、電話してもよいのか。
- 問題ない。答えられる範囲でお答えする。なお、ヘリの真下では事件は起きていない。ヘリから斜め45度下を見ている。
- まさに以前の東部緑地での殺人事件の時もそうであったが、まだマスコミが来る前に周りが騒然となっている時に自分がちょうど現場を青パトで通りかかったが、防犯活動をしているいろいろな人から次々と連絡がくる。当然捜査中の件については警察から一市民にしかるべき情報が得られないが、ある程度地域住民が安心できる方法はないものか。
- これについては自分が担当している防犯部門と捜査部門とで考え方が違う。捜査部門はとにかく早く検挙することが目的であるが、防犯のメールを外部に発信してしまうことによって、被疑者に知れ渡って逃走される可能性もあるので、非常に難しいところである。実際、検挙寸前となると情報公開を渋る場合もある。ただ、昨年豊平区で車に連れ込まれそうになった事案では、被疑者が非常に悪い者であったため、地域に知らせて注意喚起しようということになった。出せる情報についてはどんどん出していきたい。

【6】各構成団体から

- 各学校によって地域の見守り活動がバラバラであるので、各学校の見守り状況をこのネットワーク会議で集約できたらと思う。見守り活動をすごく頑張っているところと全くやっていないところがあるので、状況を集約することによって、他の地域を知って自分の地域の活動に役立てることができると思う。
- 取組としては、区民まつりで2日間ブースを提供してもらい、子どもを対象に輪投げを楽しんでもらい、その収益金を成人の集いの記念品に資金協力している。育成委員会も厚別区内に6地区あり、活動もそれぞれ違うが、全体として行っているのが子どもを

見守る店であり、各育成委員が登録していただいている店を年に最低1回まわって子どもの状況を尋ねている。それらの状況をまとめて地域振興課へ報告している。また、青少年の健全育成として、町内会単位で行っている祭りの後にパトロールをして帰宅を促すなどの声掛けをしている。

- 各学校の防犯の取組としてネックになっているのは、ネットトラブル、自転車の乗り方、たばこ等の薬物乱用についてであるので、それらについて啓蒙・啓発活動を行っている。併せて不審者の情報は小学校や関係機関と連携を取りながら収集している。厚別区の教護協会では高校も一緒になって情報共有するので、各学校での生徒の見守りにつなげることが大きいと思う。
- 町内会をベースとした単位子ども会というのが出来上がっている。幼児から小学生、中学生、高校生、大人まで含めて縦の繋がりのなかで地域や家庭から自立できる子どもの育成ということで組織化されており、単位町内会の事業や子ども会独自の事業をとおして子どもたちが垣根を越えて地域で活躍することを目的としている。札幌市も少年リーダー育成事業を実施しているので、子ども会も地域での少年リーダーを育てる事業を展開している。その中で各小学校、中学校、町内会と垣根を越えて連携しており、いろいろな場面で犯罪に遭遇することもあるため、いろいろな情報をいただきながら地域に活動が還元できればいいと思うので、ご支援いただければと思う。
- 区として取り組んでいる地域安全マップについては、区の支援を受けて実施しているのは現在共栄小学校だけであり、上野幌小学校ともみじの森小学校は独自で実施されており、上野幌西小学校は今年から独自実施予定。他の学校でも実施していただきたいと思うが、学校のカリキュラムの関係で新規で取り入れるのが難しいようである。今後も小学校校長会にも協力をいただきながら周知を図りたい。
- 厚別区の少年補導員は72人おり、区内の各交番に10人～15人所属している。日頃から支部活動が重要ということで、お祭りなどのときに交番と連携しながらパトロールを行い事故防止に努めているが、活動状況についてはまだ十分といえないため、今後も積極的に活動を要請したい。その他、非行防止や青少年健全育成、暴力追放などの大会には割り振りして参加している。また、地区の活動としては、自分の青葉地区では子ども110番の家ステッカーについては町内会長が各戸確認して作業している。青葉小学校の子どもを見守る会は交通指導員、スクールガード、青パト、自治連合会が加入しているが、その中で今回青パトの再結成を自治連合会にお願いした。ただ、青パトの隊長は自治連会長であり隊員が2人しかいないので、動きが難しく、まだ1回しか活動していない。ただし、自主パトロールは週に2回学校の下校時に行っている。残念なのは地域で見守る人が少ないことである。
- 当社は市内全ての営業車両に子どもの安全を見守るステッカーを貼って犯罪を抑止している。また、自動販売機に犯罪防止のポスターを貼ったり、電光掲示板にほくとかんメールなどのメッセージを流している。参考までに、清田区ではオレオレ詐欺防止のため、人が集まるスーパーで区の関係者と一緒にティッシュとビラ配りを年2回実施しているので、厚別区でも参考にいただければと思う。

また、当社が行っている活動で、厚別区内でもできるようなものがあれば相談いただきたい。1年前にわらび階段に防犯カメラ設置と一緒に組み合わせていただいたので、是非みなさんからいろいろな話を頂戴したい。

- 小野幌小学校1年生の下校時に併せて数十年前から毎週火曜日にパトロールを実施している。老人クラブも毎週金曜日にパトロールしている。6月に幹線道路沿いで小学生や子ども会にも参加してもらい花いっぱい運動をしており、毎年1,500株植えている。
- この度自治連に初めて加入したので、過去に地区内でどのような防犯活動をしていたのかまだ勉強していないので、自治連の総会と青葉まつりが終わってから勉強したい。小学校の見守り活動についてもかなり昔から行っているようだが、こちらについても今後関係会議に出席するので詳しく聞いてこようと思う。
- 厚別北小学校の裏側に団地が造成されている関係で小学生が増えている。自分は町内会で防犯を担当しているが交通安全の担当とも協議して、防犯と交通は一对で活動しようという話になっている。防犯活動の時には交通担当も出席してもらい、逆に交通の啓発の時には青パトも含めて防犯担当に出席してもらっている。小学校のスクールガードの会議でも防犯部、交通部、少年補導員、民生委員、各町内会の会長が出席しており、全員で活動しようということになっている。ただ、一番の問題は活動している人の高齢化である。
- 上野幌中央町内会連絡協議会として12の町内会があり、それぞれ週2回程度小学校の登下校時に防犯パトロールをしている。今のところ大きな問題はないが、本日の会議でのご意見などを今後の参考にしたい。
- 当地区では関連する小学校のスクールゾーンと連携しながら、交通と一体となった防犯活動が必要であると考えている。子どもたちに対して地域にいる人を知ってもらうため、4～5年前から12号線沿いの花植え運動にひばりが丘小学校の児童に参加してもらっている。また、普段の生活の中で子どもの見守りをしようと考えており、ゴミ捨ても登校時間に行き児童に声掛けをし、犬の散歩も登下校時に行ったりと、地域と子どもたちの距離を縮めていこうという意識が広がっている。

【7】今後の事業計画について

- 資料6のとおり。

【8】その他

- 厚別警察署少年補導員連絡協議会の今後の参加について、当ネットワーク会議の構成団体に加えることでよろしいか。
- 拍手で承認

(文責：厚別区総務企画課地域安全担当係)